

「ベトナム」との出会いを通して自分の生き方を考える

兼田 幸恵（岡山大学教育学部附属中学校） 担当教科／学活・道徳・英語

実践教科／道徳・学活・英語 対象学年／中学校1年生 対象人数／200名

実践の目的

- ・ベトナムの生活や文化に触れることで、ベトナムという国に興味・関心を持たせる
- ・ベトナムのこどもたちの生活や学校での様子を通して、自分たちとの相違点を考えさせる
- ・ベトナムの生徒と英語を通してやりとりをすることで英語学習への関心・意欲を高める
- ・ベトナムのトイレ事情を下水処理の視点と水問題の視点から考え、国際協力の必要性と水との付き合い方について考えさせる
- ・青年海外協力隊のベトナムにおける活動を通して、国際協力について考えさせ、自己の生き方を見つめさせる
- ・ベトナム戦争について学び、平和の尊さについて再確認させて、平和を希求する態度を養う

授業の構成

時限	テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1	ベトナムってどんな国？ それぞれの国のイメージを共有し、ベトナムへの興味をもつ	(1)ベトナムと日本を比較して考える (2)国の大さく、人口、食べ物などについてクイズ形式で考えさせる (3)ベトナムの都会の交通事情についてビデオを視聴させて考えさせる (4)ベトナムの都会の生活と少数民族の暮らしを比較して今のベトナムについて考えさせる	○写真 ○パワーポイント ○ワークシート ○民族衣装 ○マスク
2	ベトナムの学校生活と日本の学校生活（英語） ベトナムのこどもたちの生活や学校での様子を通して、自分たちとの相違点を考えさせる	(1)ベトナムの小学校の時間割からどのような特徴があるのかを考えて、意見交換を行う (2)ベトナムの中学生の様子のビデオを視聴する ・折り紙を楽しんでいる様子 ・英語でクラスメイトを紹介している様子 ・英語で自己紹介や将来の夢を語っている様子 (3)手紙の返事を読んで感想を書く	○写真・ビデオ教材 ○パワーポイント ○ワークシート ○手紙
3	トイレ事情（道徳） 下水処理場 ベトナムのトイレ事情を下水処理の視点と水問題の視点から考え、国際協力の必要性と水との付き合い方について考えせる	(1)日本のトイレの昔と今について考える (2)日本のトイレに関する英語の記事を読む (3)ベトナムのトイレ事情について考える (4)ベトナムの下水処理事情について学ぶ (5)日本の水の消費量について考える (6)世界の水事情について知り、自分自身の水との関わりを見つめ直す	○写真 ○パワーポイント ○ワークシート ○英語の記事 ○ビンフン下水処理場パンフレット

4	青年海外協力隊や海外で活躍している日本人について	(1)ベトナムで活躍する青年海外協力隊員や様々な事業について知る ・作業療法士として活躍しているG隊員 ・村落開発普及員として活躍しているT隊員 ・ノイバイ空港第二ターミナル建設プロジェクト (2)それぞれの人の生き方について考える	○写真 ○パワーポイント ○ワークシート
5	もしも地球が100人の村だったら	(1)世界の人口などについてのクイズを行う (2)役割カードで男女別、あいさつ、地域などで分かれる (3)富の分配を行う (4)絵本「世界がもし100人の村だったら」を読む	○写真 ○パワーポイント ○ワークシート ○絵本 ○シガーフライ ○食塩水

この授業に注目！

1限目

ベトナムってどんな国？

ねらい：ベトナムと日本を比較して、ベトナムという国の大要をつかませる

ベトナムの都会の生活と少数民族の暮らしを比較して今のベトナムについて考えさせる

ねらい設定の理由

経済成長真っ只中のベトナムは、よく言えば「これからが楽しみな国」といえる。しかし、その裏で色々なことがアンバランスであり、また格差の問題も非常に気になった。発展のかわりに失われていくものは何であるのか、ベトナムの何を残して何を変えていくのか、そこを見極めていかないといけないのではないかということをベトナムと都会の生活と少数民族の生活とを比較させながら生徒たちにも考えさせたい。

①Let's learn about Vietnam!

(1)ベトナムについて知っていることは何ですか。また、どんなイメージを持ってていますか。

【生徒の意見】

フォー ベトナム戦争 民族衣装がアオザイ エビの養殖 フランスパン バイクが多い
発展途上国 ベトちゃんとドクちゃん 戦争でアメリカに勝った国 東南アジアの国 貧しい国

以上のような意見が出たが、多くは「社会の資料集で見た。」「テレビで観たり、聞いたりしたことがある。」ということであった。ほとんどの生徒がベトナムという国に関しては、知っていることが少ないようであった。

(2)日本とベトナムの比較

LET'S LEARN ABOUT VIETNAM!
ベトナム研修を通して
第1回
ベトナムってどんな国?
ベトナムの中学生って?

岡山大学教育学部附属中学校

ベトナムクイズ
WHICH IS BIGGER, JAPAN OR VIETNAM?

331,212 377,930

岡山大学教育学部附属中学校

ベトナムクイズ
①日本の人口は?

A 約1億3000万人
B 約1億5000万人
C 約1億8000万人

岡山大学教育学部附属中学校

ベトナムクイズ

②ベトナムの人口は？

A 約2億人
B 約1億5000万人
C 約9000万人

岡山大学教育学部附属中学校 3

ベトナムクイズ

①日本の平均年齢は？

A 26歳
B 46歳
C 66歳

岡山大学教育学部附属中学校 4

ベトナムクイズ

②ベトナムの平均年齢は？

A 27歳
B 47歳
C 57歳

(2010年 CIA the World Factbook より)
岡山大学教育学部附属中学校 5

ベトナムクイズ

食べ物は？



岡山大学教育学部附属中学校 6

ベトナムクイズ

食べ物は？



岡山大学教育学部附属中学校 7

	人口	平均年齢
日本	1億3000万人	46歳
ベトナム	9000万人	27歳

生徒の感想より

- ・ベトナムと日本の大さがあまり変わらなかったことに驚いた。でも、それ以上に平均年齢の低さにビックリした。ベトナムはこれから発展が楽しみな国だと思った。
- ・ベトナム戦争とかベトナムの歴史についてもう少し調べてみたいと思った。数年たったら、日本の人口の方が少なくなってしまうかもしれないなと思う。
- ・ベトナムの料理は日本人が好きそうだと思った。

(3)これら2枚の写真を見て、気がついたことを書いてみよう。



モー村あった看板
日本語でコスチュームレンタルと書いてある

- ・民族衣装をレンタルしているのかな
- ・カタカナが書いてある
- ・日本語と英語の看板がある
- ・他の国の言葉で何か書いてある
- ・観光客が来るからなのかな
- ・とても緑がいっぱいある



ホームステイさせてもらったモー村の家

- ・炊飯器やテレビがある
- ・広い。1部屋しかない
- ・電気がない
- ・ガスがない
- ・男の人が料理をしている

生徒の反応

- ・ベトナムのことはあまり知らなくて、イメージしかなかったから今日たくさんのことを知ることができよかったです。人口が9000万人というのは割と日本に近くてびっくりした。
- ・ベトナムは、古さと新しさが調和している。
- ・バイクがたくさん通っているのがびっくりした。
これからどう発展していくのか楽しみ。一度は行ってみたい。
- ・ベトナムについてビックリしたことがたくさんあった。携帯の普及率が100%を超えていることにも驚いた。発展しているところとしていないところの差が激しくてビックリした。
- ・バイクの量の多さとあのスピードには驚きました。ベトナムのフォーとかフランスパンとか食べてみたい。



所感

クイズや写真を用いて、生徒たちの興味関心を引きながら授業を進めることはできたが、1時間にたくさんの要素を詰め込んだために、ねらいの達成が少し不十分であったように感じる。

しかしながら、多くの生徒がベトナムに興味を持ち、今のベトナムの様子について様々な角度から考えることができたことは大切な学びであったと思う。個人的に興味を持ったところを自主レポートなどで更に深めてくれることを期待している。

2限目 ベトナムの学校生活

ねらい：ベトナムの中学生からの手紙の返事を読んで、英語でやりとりをする楽しさを実感する
ベトナムの生徒の学校生活と自分たちの学校生活を比較して相違点を考える

ねらい設定の理由

英語を第二外国語として学習している中学生と交流することで英語学習の目的を生徒一人一人に考えさせたいという思いがあった。また、ベトナムの中学校生活と自分たちの学校生活を比較することで、異文化理解の態度を養いたい。

*ベトナムに行く前に生徒たちに自己紹介とベトナムの生徒たちへの質問を手紙として書かせておいた。ベトナムの中学校を訪問した際に、その返事を書いてもらった。今回はこの返事をもとに授業を行った。

(1)ベトナムの小学校の時間割を見て気付いたことをあげてみよう。

【生徒の意見】

国語の授業が多い パソコンの授業がある 8時間目まである 朝が早い 実技の教科がない
休み時間が長い 昼寝の時間がある 自習の時間がある 35分授業である

以上のような意見が出たが、日本でも学校によって多少の違いがあるように、この時間割もたくさんあるベトナムの学校の時間割の1つであることを押さえておいた。

(2)ベトナムの中学生との交流の様子 *写真及びビデオ視聴



英語でクラスメイトを紹介してくれる中学生の様子



折り紙を楽しむ生徒たちの様子



高校生が全て英語で授業を受けている様子



折り紙を楽しむ生徒たちの様子

(3)手紙を通しての交流

ベトナムに行く前に日本の生徒たちにベトナムの中学生に手紙を英文で書かせた。自分たちが知っている表現を使って、自己紹介とベトナムの中学校に対する質問を英語で考えた。

Self-Introduction

How do you do?

<Let me introduce myself>

My name is Iku Morino.
I'm twelve years old.

I like English class. I want to be a good speaker.
I am in the badminton club. Badminton
practice is real fun.
My birthday is August 6th.

日本

This is Japanese calligraphy. It means
Japan. I think I am good at writing it
because I started learning it when I
was 5 years old.

Yukata is a traditional Japanese
clothes. Yukata is a kind of kimono.
It is worn in summer. People wear
yukata at fireworks and
summer festivals. I am looking
forward to wearing yukata.



My name is Akagi Riko.

I'm twelve years old.

My birthday is November Twelfth

I live in Okayama.

My favorite sport is "Kendou".

I'm in the Kehdou club.

I have one brother.

I like to read comics and books.

I like sherlock Holmes.

My favorite food is chirashi-zushi!

← Shinai ... Kendou's Tool

My friends

Kendou is Japanese traditional
sports.

Kendou is very popular.



1. Where do you live?
What kind of place do you live in?
Do you live in a big city?
2. Is your school near your home?
3. Do you go to school
every day? When
do you go to school?



自己紹介や質問を考えている様子

1. Do you go to school on Saturday?
2. Do you speak Japanese?
3. Do you play the guitar?
4. Do you like cherry blossom?
5. Do you watch TV every day?
6. Do you go to school by car?
7. What Japanese food do you like?



グループで手紙の内容を考えている様子

ベトナムの中学生からの返事



Hi Yuka. My name is Minh Chau.
I live in Viet Nam and I live in Ha Noi - the capital city of Viet Nam. Ha Noi is a big city and there are a lots of interesting things to do in this city like go to some shopping mall like Parkson, Vincom. Do you like go shopping? I love shopping. My school is Nguyen Sieu school. My house is near my school so I usually go to school by car. I go to school everyday except Saturday afternoon. I go to school every morning. Have you ever been to Viet Nam? Please say!



Yes, I do. No, I can't speak Japanese
I can't play on the guitar. I very

like cherry blossom. I watch TV everyday. Yes,
I go to school by car. I very like sushi.
(My name is Lam.)



Hi! My name's Binh! I like running and swimming. I like "pho", a tradition food of Vietnam, and I also like sushi too! >< That's really good!
I live in Hanoi, the capital city. Foods are original in my city or my country:
pho, bun cha, ... I love Japan and I wish to be on this place. I'm very happy to write to you! Thanks! Binh

こんなことが書いてあった！

好きな食べ物は スパゲッティとピザ。
私も豆は好きです。
バドミントンが好きです。
私も姉妹がいますよ。 日本大好きです。

ベトナムの首都のハノイに住んでる。

ハノイは大きな町で たくさんのおもしろいものがある。

ショッピングが 大好き。

9:10 に学校が始まる。

学校の近くに家がある。

車で通う

土曜日と日曜日と祝日以外は学校がある。

質問に対する応答。どの季節が好き? → 春と秋
「日本に来てみたい!」日本語が少し話せる。
コナニが好き 12才。音楽が好き → ピアノが大好き
だから。
美術が好き フォーが好き 28人の人が1クラスにいる。

生徒の反応

- 結構、英語ができることに驚いた。英語ってやっぱりたくさんの国で通じる言語なんだなあと改めて思った。
- ベトナムの生徒たちが、僕の手紙に頑張って返事をしてくれているのが嬉しかった。国を越えて、こんなやりとりができるのはすごいいいことだと思う。
- ベトナムの学校は日本と似ているところもあるけど、違うところもたくさんあった。手紙から、日本の漫画やたこ焼きを知っているんだなあとと思ってビックリした。すごく楽しそうに授業を受けていて、一緒に授業をしてみたいと思った。
- 日本とは違って、休み時間が長いのはいいけど、朝早くから学校があって、授業が8時間もあるのは大変そうだと思った。でも、授業がとても楽しそうだった。私が書いた手紙にもすごく詳しく答えてくれていたし、逆に質問されるくらい英文を上手に書いていてすごいと思った。

所感

生徒たちは、「英語」というコミュニケーションツールを通して、言語や文化を異にする人とつながることができるということを実際に手紙の返事をもらうという形で実感することができた。そのこと自体に大きな価値があったように思う。ややもすると英語学習=英語圏の人たちとの交流というイメージを持つてしまいがちになる。しかし、グローバル化が進む現代においては、英語を第二言語として学習している人たちと英語をツールとして、コミュニケーションを図っていくことが不可欠になってくるであろう。将来、彼らが互いの夢を語り合ったり、問題解決に向けて議論し合ったり、協働作業をしていったりすることがきっとあると思われる。今回の授業を通じて、普段学習している英語を積極的に活用して、他者とつながっていく喜びを実感しながら英語学習を進めていってほしいと感じた。

3限目

ベトナムのトイレから学ぶ

ねらい：日本とベトナムのトイレ事情について知る
下水処理場の働きや日本人の水の消費量について考える

ねらい設定の理由

トイレ事情や水事情に関して、日本はかなり恵まれているといえる。そのことが当たり前ではないことに気付かせ、普段の生活における水との関わり方を見直すきっかけとしたい。また、その際にベトナムにおける水問題についても考えさせたい。

(1)日本のトイレの昔と今について考える



生徒の意見

- ・ここ数年間にすごい進化していると思う。
- ・おばあちゃんのうちとかは古いトイレだったけど今は新しくなっていた。我が家もウォッシュレットが当たり前のようになっている。
- ・昔は障害者用のトイレとかあったのかな。その点では、今のトイレの方が色々な人に配慮されていると思う。

(2)英字新聞で日本人とトイレについて考える

Spoiled by Japanese "advanced" toilets?

*In the 2010 Shanghai Expo, one of the things that has attracted visitors is "the best toilet in the world" exhibited at the Japan Industry Pavilion. The toilet, one of the "Regio" models made by INAX Corporation, has been quite popular among the Chinese visitors for its advanced features - its lid opens automatically as you get closer, it plays relaxing music while you're doing your business, and it helps clean you afterwards with a gentle jet of water, and so on.

Regio is one example that shows the Japanese passion for toilets. Otohime (Sound Princess), a small device that plays a flushing sound to cover the sound of bodily functions, is probably another unique product for Japanese toilets. Many Japanese women tend to be embarrassed about being heard by others while using the toilet, so they used to flush public toilets continuously while using them, wasting a large amount of water. To avoid such wastefulness, Otohime was introduced by TOTO in 1980, and has now been installed in many public toilets throughout Japan.

Meanwhile, the Washlet, an advanced type of toilet with many functions, was also released by TOTO in 1980. The functions include a bidet, blow dryer, seat heating, automatic flushing, etc. The Washlet gradually became common in public restrooms, and then also became popular in private households. Now, a lot of families have Washlets in their homes, and some people love their Washlet so much that they cannot contemplate using "normal" toilets any more.

Now that many Japanese are so used to "the best toilet in the world," they are likely to struggle with other types of toilets when they travel abroad. They will probably not be able to find fabulous Washlet types - instead, they may encounter toilets that are too simple or too filthy. Being able to relax in Japanese washrooms is a great thing, but it might also be better for them to stay familiar with various types of traditional toilets, in case of "emergency."

日本の話題（72）：「最新トイレ」に慣れすぎた日本人！？

2010年上海万博で、訪れる人々の注目を集めている物の一つが、日本産業館に展示されている「世界一のトイレ」です。このトイレは、INAXの「Regio」モデルの一台ですが、先進的な機能で中国人来場者の間でもかなり人気です——人が近づくと自動でふたが開き、用を足している間に心地良い音楽を流し、終わった後には優しい水流で洗浄してくれる、などの機能です。

Regioは、日本人のトイレに対する情熱を示す一例です。音姫（Sound Princess）は、用を足している間の音を隠すために流水音を流す小さな装置ですが、これもまた、日本のトイレ特有の製品の一つでしょう。多くの日本人女性たちは、トイレを使用している間の音を他人に聞かれることを恥ずかしいと感じる傾向にあり、そのため、かつては公衆トイレを使用中に絶え間なく水を流し、大量の水を無駄にしていました。こうした無駄を避けるため、音姫は1980年、TOTOによって発売され、今では日本中の多くの公衆トイレに設置されるようになりました。

一方、さまざまな機能を持つ先進型のトイレ「ウォシュレット」もまた、TOTOによって1980年に発売されました。機能には、ビデや温風乾燥、暖房便座、自動洗浄などがあります。ウォシュレットは公衆トイレで徐々に普及していき、その後、一般家庭でも人気を博していました。今では、多くの家族が自宅にウォシュレットを備えており、中にはウォシュレットを気に入りすぎて、もはや「普通の」トイレのことなど考えられないという人もいます。

多くの日本人が「世界一のトイレ」に慣れてしまっている現在、彼らは海外旅行先で、それ以外の種類のトイレに苦労させられるようです。彼らはおそらく、ウォシュレットのような素晴らしい種類（のトイレ）と出会うことはないでしょう——代わりに、あまりにも簡易すぎる、または汚すぎるトイレと遭遇するかもしれません。日本のトイレでくつろげるのは素晴らしいことですが、「緊急時」に備えるべく、昔からあるさまざまな種類のトイレにも慣れ親しんでおいた方がよいかもしれませんね。

生徒の反応

- ・僕の家のトイレは、ウォッシュレットもついていて当たり前に使っていた。なので、ウォッシュレットのついていないトイレを使う時や便座が冷たい時には嫌に思うこともあった。でも、この話を読んで僕も快適な日本のトイレに慣れ過ぎていると思った。他の国のトイレにも興味がある。
- ・ここ数年で日本のトイレは大きく進化したと思う。今後どうなっていくのだろうか。

(3)私が出会ったベトナムのトイレ





日本の水使用状況

図1【一般家庭では水をこう使っている】

意外にもトイレに一番水を使っている。風呂と洗濯という清潔のために4割以上使うのは日本人ならでは
(参考資料:東京都水道局より)

岡山大学教育学部附属中学校 10

用途	割合
洗濯	22%
風呂	24%
洗面	17%
トイレ	37%

生徒の意見

- ・1日に平均して320リットルも水を使っているなんて信じられない。
- ・世界で消費量第4位なんてビックリしました。そう考えたら、流しっぱなしの水とか本当にもったいないと思います。ベトナムではキレイな水が使えなくて困っている人もいるので、水を大切にすることをもう一度考えた方がいいと思います。日本は贅沢な国になってしまっていると思う。
- ・世界には、まだまだ下水処理がされていないくて、河川に直接流している国もあり、それで8秒に一人が死んでいっていることを知ってショックだった。日本は音を聞かれたくないから水を流したりしているけど、快適なトイレを求める前にまずは世界の水問題に目を向けるべきだと思った。
- ・一回トイレに行くだけに何リットルも使っていると思うとその使いかたを考え直したいと思った。

水の消費量

世界平均 165

国	消費量 (リットル)
1.カナダ	800
2.アメリカ	589
3.イタリア	384
4.日本	375
5.フランス	290

日本は世界的に見て、水の消費量は4位。
(参考資料:NPO法人Waterscapeより)
※国土交通省水資源部は、日本人1人あたりの1日の水使用量を320リットルと発表しているが、NPO法人Waterscapeによれば375リットルという試算がなされている

岡山大学教育学部附属中学校 11

トイレ回の水消費量

- A 5リットル
- B 10リットル
- C 20リットル

岡山大学教育学部附属中学校 11

世界の水事情

世界には約12億人の人が、安全な水を飲めないでいる事実。そして毎年、水不足と水質汚染によって、400万人が命を失っている事実。これは8秒に1人が水が原因で亡くなっている計算だ。

岡山大学教育学部附属中学校 12

4限目

青年海外協力隊の人や世界で活躍している日本人に学ぶ

ねらい：世界で活躍する日本人について知る

自分はどのようなことで社会貢献することができるかを考える

ねらい設定の理由

私自身が、JICAの協力隊員の方々、シニアボランティアの方々、そして大成建設をはじめとする日本企業の方々に出逢って、大変感銘を受けた。それぞれのプロジェクトに目的があり、その目的を達成するための手段を現地の人たちと何度も何度も議論を重ねて実行にうつしていく。こちらの価値観を押し付けるでもなく、相手の考えをそのまま受け入れるでもなく、AとBからよりよいCを創りだしていく。そのエネルギーは並大抵のものではないと思うけれど、それを成し遂げたときの達成感は例えようもないほど大きいものであると感じた。彼らの活躍から生徒一緒に自分の生き方について考えていきたい。

(1)私が出会った「世界で活躍する日本人」の方々を紹介する



自分の体験について話してくれているMさん

Mさんの「貧困のあり方がいびつ、海外に出れば出るほど、日本人であることを意識する。自分のふるまいが彼らの日常生活を振り返るきっかけになってほしかった。」などの言葉がとても心に響いた。

また、「通訳は必要ない。やっぱりダイレクトにその言葉を自分が理解したい。そう思って言語の習得を頑張った。」という言葉も胸にささってきた。

ノイバイ第2ターミナル建設プロジェクト視察した。大成建設の方の話をうかがって、日本の技術を誇りに思った。ベトナム人と一緒にプロジェクトを進めていくことの難しさもうかがったが、それ以上にやりがいを感じられていることにも感銘を受けた。それぞれの役割分担をしっかりとを行い、お互いに立場を尊重しながらプロジェクトを進めていると言われていた。



プロジェクトの概要について説明している様子



村落開発普及員のT隊員



南部果樹研究所に派遣されている専門家のYさん

(2) AとBでよりよいCを創りだしていくということはどういうことだろうか。

生徒の意見・感想

- どちらかの意見だけを採用するわけではなく、お互いのよいところを取り合って新しい考えを創りだしていくことだと思う。実際に、この人たちは言語の違う人たちと話し合いながらよりよいCを創りだしていくのだから、苦労は相当あったと思う。
- これは私たちの学校生活においても大切な考え方だと思った。授業における話し合い活動のときに意識してみたいと思う。
- 今まで対立する二つの意見があったときは、そのどちらかを多数決とかで安易に決めていたように思う。それぞれの立場からの意見をしっかりと聞いて、そのうえで新しい考えをみんなで作っていくことが重要なんだと思った。
- これは素晴らしい考え方だけど、現実的にはかなりむずかしいと思う。特に文化や言語が違う人たちとは簡単にはいかないと思う。

(3) それぞれの人の生き方を通してどのようなことを考えましたか。

生徒の感想

- こんなにたくさんの日本人がベトナムで活躍していることに驚いた。僕が何かできているわけではないけれど、なんか嬉しかった。僕もいつか世界に貢献できるような人になりたい。
- 私は今、英語の勉強だけでもとても大変だと思っています。でも、Mさんは現地の言葉は現地の言葉で聞いて理解したいという強い思いで、ベトナム語も習得していました。本当にすごいと思います。やはり人とつながるためにまずは、言語が大切なのだと思います。私自身まだ将来の夢は決まっていませんが、英語を使って世界で活躍できるように今は英語の勉強を頑張りたいです。
- 僕は、将来したいことはまだよくわからないけど、海外で働く自分の姿は想像できない。できるなら日本にいて、その中でも岡山にいて、岡山に貢献できるような人になりたい。
- 海外で活躍している人には、いろいろな分野の人がいた。やっぱり専門的な知識を持っておくことは大切だと思った。僕は、農業のことはよくわからないけど、医療には興味がある。ベトナムの病院にカルテがなかったりしたことには驚いた。みんなが安心できるような医療になるようにG隊員には頑張ってほしい。僕も将来の夢に向かって頑張っていきたい。
- ベトナム以外の国で活躍している日本人のことも気になった。どのような国でどのような援助を必要としているのか調べてみたいと思った。

所 感

生徒たちは、「世界で活躍する日本人」の姿を色々な角度から見ることができていたようだ。やはり大切なのは、「遠くで活躍しているすごい人たち」という理解だけにとどまらず、彼らの生き方をどのように自分自身の生き方と関連付けて考えることができるかということである。中には、そのように考えられている生徒もいたが、多くの生徒はまだまだそこまではいけていないように感じた。しかし、今はその段階でもよいと思う。今回の授業が彼らにとって種になればと思っている。その種が、いつ芽を出すかは分からないけれど目を輝かせながら、世界で活躍する日本人について自分なりにしっかりと考えてくれていた生徒たちのこれからに期待している。

全体を通しての成果と課題

今回の授業実践を通して、生徒の視野をいくつかの視点で広げることができたのではないかと思う。具体的に以下4点あげられる。

- ①ベトナムという国についての知識・理解が深まったこと
- ②英語を学ぶ目的が明確になったこと
- ③トイレ事情や水事情を考えることで自己の生活を見つめ直すことができたこと

④世界で活躍する日本人の姿から、新しい職業観を得たり、自己の生き方を考えたりする契機になったこと

しかしながら、上記でも述べたように、まだまだ種まきの段階で、1つ1つの授業も十分に深まったとは言いがたい面がある。今後も継続的に、授業や道徳の時間、特別活動の時間を中心としながら、日々の学校生活の中で国際理解教育にも取り組んでいきたい。

今回の研修のキーワードの一つは「人材育成」であったと思う。教育には力がある。そのことを自覚したうえで、目の前の生徒たちにどのような教育をしていったらよいのかを深く考えることができた。おそらく場当たり的な教育ではなく、数年先、十数年先を見据えた教育を行っていくことが不可欠であると思う。

きっと生徒たちの多くが日本以外の国に行くことがあると思う。むしろ、せっかくこの世に生まれてきたのだから、今まで育ってきた日本という土地から離れて別の世界を見てほしいと願っている。海外に行くだけで学ぶことはある。言語や食べ物、景色が違うだけで、そこに自分を成長させてくれる材料はたくさんあると思う。広い世界を見て、日本で、もしくは海外で…どこでもよいので自分らしく、世界の一員であることに誇りを持って、自分の役割を見つけ、それにやりがいを感じながら生きていってほしいと思う。

私自身にとっても、今後の自分自身の生き方を考える上でとても有意義な研修であった。授業実践はこれからも継続的に行っていくとともに、特別な授業だけではなく日々のささいなことを今までとは違って視点で捉えていくことを意識したい。

今回の研修を通して出会った人たちは、とても輝いていて自分にはないものを持っている人が多いと感じた。しかし、彼らには彼らの、私には私の役割があると思う。自分のよさや自分らしさを大切にしながら、自分だったらどのような形で世の中に貢献していくことができるのかを考えながら、自己研鑽を積んでいきたい。

参考資料

【書籍】

「観光コースでないベトナムを 歴史・戦争・民族を知る旅」伊藤千尋著 高文研

「ベトナムぐるぐる」なかがわみどり、ムラマツエリコ著 角川文庫

「ベトナムのこころ しなやかさとしたたかさの秘密」皆川一夫著 株式会社めこん

【映像資料】

ベトナムで撮影したビデオ

【インターネット】

「地球VOCE わたしたちは世界とともにある」 www.tv-tokyo.co.jp/chikyu-v/back119.html

「ニュースリリース」 http://inax.lixil.co.jp/company/news/2010/060_eco_1117_725.html

資料①

Let's learn about Vietnam!

第1弾 ベトナムという国＆少数民族

Q1 ベトナムについて知っていることは何ですか？

Q2 日本とベトナムの人口は？ それぞれの国平均年齢は？

	人口	平均年齢
日本		
ベトナム		

Q3 この写真から分かることは何か？



今日の授業の感想を自由に書いてみよう。

Class () No () Name ()

資料②

Let's learn about Vietnam!

第2弾 ベトナムの学校

Q1 ベトナムの小学校の時間割を見て、気付いたことをあげてみよう！

時間	月	火	水	木	金
7:30~8:05	朝礼	国語	国語	音楽	国語
8:10~8:45	国語	体育	国語	国語	国語
8:45~9:10	中休み				
9:15~9:50	図画	国語	算数	PC	PC
9:55~10:30	音楽	算数	社会	音楽	道徳
10:35~11:10	国語		図画		
昼休み(昼寝)					
14:10~14:45	体育	算数	国語	英語	国語
14:50~15:25	算数	英語	算数	算数	図工
15:30~16:05	自習	自習	自習	音楽	自習

Q2 手紙の返事にはどんなことが書いてありましたか？

今日の授業の感想を自由に書いてみよう。ベトナムの生徒たちの表情からどんなことを感じましたか？

Class () No () Name ()

資料③

Let's learn about Vietnam!

第3弾 ベトナムのトイレ

Q1 日本のトイレは昔と今ではどのように変わりましたか。



(Answer box for Q1)



Q2 ベトナムのトイレを見てどんなことを考えましたか。

(Answer box for Q2)

Q3 日本の水の消費量を見て、どのように感じましたか。

(Answer box for Q3)

Q4 今日の授業の感想を自由に書いてみよう。今後の自分と水との付き合い方について考えてみよう。

(Answer box for Q4)

Class () No () Name ()

Let's learn about Vietnam!

第4弾 世界で活躍する日本人

(1)先生が出会った「世界で活躍する日本人」



(2)AとBでよりよいCを創りだしていくということはどういうことだろうか。

(3)それぞれの人の生き方を通してどのようなことを考えましたか。

Class () No () Name ()